

若竹

第七十九号



神道青年四国地区協議会
親睦会・顧問会並びに懇親会

愛媛県神道青年会

事務局 〒793-8555

愛媛県西条市西田甲797 石鎚神社 内

TEL 0897-55-4044 FAX 0897-55-7242

URL <https://www.ehimeshinsei.net/>



愛媛県神道青年会

検索



新年のご挨拶



愛媛県神道青年会 会長

今治市 吹揚神社

宮司 田窪 大朗

たくは ともあき



新春を寿ぎ、謹んで聖寿の万歳と皇室の
弥栄をお慶び申し上げると共に、県内各社
の御発展を心よりお祈り申し上げます。

つい先日、一月号で新年の御挨拶をさせて
いただいたように思いましたが、早いもので
あれから一年があつという間に過ぎました。

読書が嫌いな私が(シヨートシヨートが
限界)、「一秒も無駄にするな」という堀江
貴文氏執筆本の言葉に心を惹かれて、珍し
く手に取った事が昨年私にとっての一番の
出来事かもしれません。それに感化され
て、お社が少しでも発展するにはいかにす

べきか、自身の学びは足りているのか、宿
題を後世に残さない等、そして何よりもコ
ロナ禍の神青の在り方や存在意義について
悩むことも多く、神社の周年事業も相まっ
て様々思いを張り巡らした一年でした。

昨年は、北京冬季五輪の過去最多メダル
獲得・ロツテ佐々木朗希の二十八年ぶり完
全試合・大谷翔平選手史上初ダブル規定到
達・沖縄本土復帰五十年等、明るい話題が
あつた反面、安倍晋三元首相が奈良県に於
いて演説中に銃撃され死亡した事件、ロシ
アのウクライナ侵攻等、国内外でショッキ
ングな年でもありました。その為、尖閣諸
島や竹島、北方領土問題や北朝鮮拉致被害
者の継続的な救済はもとより、緊迫した極
東情勢に於いて、防衛費増額や離島の拠点
化・装備品の拡充といった今後の防衛体制、
それから、中国海警局と対峙する海上保安
庁が抱える諸問題の解決、そして何よりも
憲法改正が岸田首相政権下でどのような展
開になるのか、非常に気になるところでご
ざいます。

さて、我々愛媛神青は、再発足五十周年
事業として、令和四年五月十八日に愛媛県
神社庁に於いて、愛媛県神社庁三輪田泰生
庁長を始め役員、愛媛神青元会長等の御参
列を頂き、周年奉告祭を斎行しました。通
年事業の参拝啓発ポスター発送や定時総
会、また、夏越祭や夏祭りに併せて移動社
務所を稼働させ、授与所の代わりとしてお
札やお守り、御朱印頒布を行い、県内各社
の発展に寄与させて頂きました。珍しいの

も相まって、大人から子供も含め、参拝者
からの反響も多く、これからも実績を積み
重ねていきたいと思えます。活動内容につ
いては後ろのページで紹介しておりますの
で、ご確認ください。

今年は、臨時総会・慰問神楽(西条市立
橘小学校)・沖縄県戦没者遺骨収集事業(周
年事業)始め、神道青年全国協議会の中央
研修会が四国地区主管の徳島県担当で実施
される予定もあり、年明けから三月末まで
事業が多くございます。

まだまだコロナ前に程遠い状況ではあり
ますが、神社界の更なる発展に寄与すべく、
また我々自身の学びを更に深めるべく、こ
れからも邁進して参る所存です。

皆様方の御支援御協力も改めてお願い申
し上げ、新年の御挨拶とさせて頂きます。

おわりに

海外に比べて銃犯罪が少ない日本に於い
て、安倍晋三元首相が撃たれお亡くなり
なつた衝撃は今でも忘れられません。その
衝動にかられ、急遽自民党本部まで献花に
行きました。雨天の中、喪服の方、私服の
方、スーツの方等様々で、傘もささずに濡
れながら涙を流す人、静かに手を合わす人、
遺影に向かって何かを語り掛ける人、会場
からなかなか離れない人等、様々な人の想
いや光景が今でも思い出されます。

改めて御冥福をお祈り申し上げます。

新年あけましておめでとうございます。





神道青年全国協議会 硫黄島渡島事業



【報告者】
愛媛県神道青年会 監事
松山市 厳島神社
欄 宜 柳原 永祥

八月九日、硫黄島にて慰霊祭を行うと共に、戦跡や遺骨収集の現場を見せていただきました。

前日に集合して研修が行われ、戦争の前は野球や相撲大会が行われるなど、普通の島民の暮らしがあったことや、遺骨収集の歴史について学び、翌日に入間基地から硫黄島に出発しました。搭乗したC-119機内座席は、パイプフレームに布張りの簡易的なもので、会話ができないくらいの騒音で、耳栓をして二時間半ほどかけて到着しました。



かつこいいですが、緊張します。

一般人の渡島は厳しく制限されている硫黄島ですが、事業に参加するにあたり、特別に許可されており、到着し移動と同時に

硫黄の独特の匂いを感じながら慰霊祭の会場に向かいました。硫黄島は七十七年前に二万余りの尊い命が失われました激戦の地です。祖国や家族の為に犠牲となった方々に対する感謝と敬意を込めて慰霊祭を行いました。参列者は地下壕の中で水を激しく求めたであろう英霊の為に慰霊碑に水をかけ、様々なお供えをされていました。



心からの感謝を申し上げました。

硫黄島は現在も硫黄が噴出しており、場所によっては百度以上の蒸気が上がり、地下壕の中は地熱でサウナのような状態です。手彫りの壕は狭く、決して大きいものではなく、一分も経たないうちに汗がにじんできます。このような中で一月もの間、潜伏して奇襲を行っていたと思うといたたまれない気持ちになりました。また、銃撃の跡の残る壕や敵の砲弾がめり込んだ砲身も残っており、過酷な状況で激戦が行われた様子が



伺えます。

遺骨収集は未だに続いており、日本がこれまでに収容できた遺骨は、一万四三七人。半数以上の一万一五〇〇人近くがまだに見つかっていません。

日本軍は、全長十数キロに及ぶ地下壕にこもる持久戦を展開し、多くの兵士は壕の中で亡くなったとみられています。この壕を探し出すこと自体が困難になっています。

遺骨収集事業は、一九六八年の返還後に本格化しましたが、この時点で戦後二十三年が過ぎており、それまでに多くの壕は埋められて整地されており、どこにあるか分かりません。

今回見せていただいた遺骨収集現場の壕は五メートル以上地面を掘ったところに発見されたようです。

愛する祖国のために亡くなった戦没者の方々へ改めて敬意を感じると共に、その犠牲の上に現在の平和な暮らしがあることに感謝いたしました。

更に興味のある

方は、YouTubeにて元島民の方のインタビューや今回の渡島の動画も上がっていますのでご覧ください。



会を代表して参加しました。

貴重な体験となりました。

神道青年四国地区協議会 第二十二回神道行法錬成会



【報告者】
愛媛県神道青年会 理事
松山市 伊豫豆比古命神社
権欄宜 宮本 僚

去る令和四年九月十二日(月曜・赤口)に徳島県の鳴門グランドホテル海月・大毛海岸にて第二十二回神道行法錬成会が開催されました。来賓には徳島県神社庁長圓藤恭久氏をお迎えし、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による中止以来、約三年ぶりとなる禊講習会に四国四県から二十三人の神職が集まり汗を流し錬成に励みました。道彦に東八幡神社宮司建島章生先生、助彦に大麻比古神社権欄宜岩野孝能先生のお二方より御指導を賜りました。

この日は國學院大學からの実習生の参加もあり、正に青年期の神職が四国に集うという様相でした。天候は夏に戻ったかのような暑さと照り返しましたが、大毛海岸の海は心洗われるような涼やかさに風いできました。神社ではなくホテルでの開催ということでしたが、感染症対策等を考えて時代に合わせた多様性を確保することも教化

活動での挑戦になるのではないかと思います。した。

神職生活初めての神道行法錬成となった実習生達は当初たどたどしさを隠せないようでした。特に鎮魂行事に於いては手足の正確性が必要とされますが、若き実習生達にとっては慣れない形であったように見受けられました。しかし集中して諸先生と自身を比較し順調に修正を進めていました。無心になり行に努めることは自身と向き合い神明奉仕の日々を再確認するようであり、研磨を重ねた刀身が艶やかに光るが如く、錬成に励む神職を鍛えるものだと思います。

例年ですと錬成会後にも行事予定は多々ありましたが、感染症予防対策の一環として懇親会は省略される事になりました。同じ海に褌ぎして肩を並べて行法に励んだ仲は縁となり、そして何時かまた結ばれる日が来ると確信しております。

御指導頂きました先生方、また御準備頂きました神道青年四国地区評議会・徳島県神道青年会の皆さんにこの場を借りまして厚く御礼を申し上げるを以て、御報告と致します。



神道青年四国地区協議会 第22回神道行法錬成会 令和4年9月12日 於 鳴門グランドホテル海月・大毛海岸

しっかり錬成してきました。





【報告者】
愛媛県神道青年会 副会長
八幡浜市 大元神社
欄 宜 井上 雅仁

利用神社

神社名…田中山大元神社
宮司名…菊池国興
所在地…八幡浜市中津川鎮座

日時・祭典情報

令和四年七月十日(日)
十七時～十九時三十分
〔夏越祭〕の境内にて設置

頒布・授与品等

神宮大麻・御札(大元神社)
御守り・御朱印・限定御朱印

参列・見学者数 約六〇名



利用神社

神社名…大元神社
宮司名…井上正博
所在地…八幡浜市若山鎮座

日時・祭典情報

令和四年七月十七日(日)
十七時～二十時
〔夏越祭〕の特設会場にて設置

頒布・授与品等

神宮大麻・御札(大元神社)
御守り・御朱印
移動社務所御朱印・限定御朱印

参列・見学者数 約一〇〇名



利用神社

神社名…三島神社
宮司名…佐藤肇国
所在地…上浮穴郡久万高原町
菅生鎮座

日時・祭典情報

令和四年七月二十三日(土)
十八時～二十一時
〔夏越祭〕の神社駐車場にて設置

頒布・授与品等

神宮大麻・御札各種
御守り各種・御朱印
限定御朱印・限定御朱印帳

参列・見学者数 約四〇〇名



利用神社

神社名…三島神社
宮司名…一宮康人
所在地…八幡浜市保内町
宮内鎮座

日時・祭典情報

令和四年七月二十八日(木)
十六時三十分～二十一時
〔夏越祭〕の神社境内にて設置

頒布・授与品等

茅輪御守り・限定御朱印
三島風鈴・御神籤(三種)

参列・見学者数 約五〇〇名



利用神社

神社名…八幡神社
宮司名…是沢邦久
所在地…西宇和郡伊方町
湊浦鎮座

日時・祭典情報

令和四年七月二十九日(金)
十八時～二十一時
〔夏越祭〕の神社境内にて設置

頒布・授与品等

御札(八幡神社)
輪くぐりの唄(短冊)
限定御朱印

参列・見学者数 約三〇〇名



ぜひご活用ください。



移動社務所利用申請書

愛媛県神道青年会長 殿

神社名 _____

役職・氏名 _____

下記のとおり、移動社務所の利用を申請いたします。

記

年月日	神社名	宮司名	祭典等の名称	用途
				・授与品頒布 ・御朱印授与 ・ご祈祷受付 ・その他（ ）
				・授与品頒布 ・御朱印授与 ・ご祈祷受付 ・その他（ ）
				・授与品頒布 ・御朱印授与 ・ご祈祷受付 ・その他（ ）
				・授与品頒布 ・御朱印授与 ・ご祈祷受付 ・その他（ ）

【申請時の注意事項】

- ・当面は、青年会員が参加可能な日のみに限ります。
- ・利用料は無料とします。（青年会員参加の場合に限る）
- ・移動社務所で使用する授与品等は、各神社にてご準備ください。

愛媛県神道青年会事務局

TEL 0897-55-4044 FAX 0897-55-7242

参拝啓発ポスター発送事業

【報告者】

愛媛県神道青年会 理事
松山市 伊豫豆比古命神社
権禰宜 宮本 僚



去る九月十五・十六日午後六時より松山市居相に鎮座する伊豫豆比古命神社の会館に於きまして令和五年度ポスター発送作業を行いました。令和四年夏当時は感染拡大がやや縮小傾向を見せる状況ではありましたが、参加人数調整や兼業との兼ね合いもあり、昨年に倣った分割日程での作業になりました。会員さんにもご助力頂きました結果、二日間の行程は無事完了しました。

この場を借りましてご協力頂きました皆様に厚く御礼を申し上げます。

今回の題目は「心のふるさとを訪ねよう」です。神社とは古来より日本人の原風景が一翼を担い続けていま



した。しかし多くに現代人は心からの故郷を見失い、テレビ・スマホの中に映る世代共通の風景を「現代の故郷」と思い始めています。確かに歴史の横糸で見ればその世界観も時代の一風景かもしれません。ただ連綿と続く歴史の縦糸を無視することはできません。過去と未来を繋ぐ心のふるさとである神社に多くの方がお参りされることで、日本人としての原風景を再確認する始まりになることができましたら幸いです。

年早見表に加えて厄年表を記載させて頂きました。情報化社会と成りました昨今に於きましては厄年の情報も容易に調べられる時代では有ります。しかし自宅にて厄年を知ること、神社にて厄年を知ること、それはお参りされる方にとっては異なる印象になると思われます。社頭にて活用される場合は勿論のこと、掲示されたポスターを見て参拝者の皆様が神社にお参り、また御祈禱されるきっかけになりますことを願っております。

心のふるさとを

訪ねよう

令和5年 癸卯
(皇紀2683年)

年 祝 い			七 五 三			厄 年			
白 寿	99歳	大正14年	年 齢	数え年	満年齢	数え年	前 厄	本 厄	後 厄
草 寿	90歳	昭和 9年	七歳の女児 (数え年のみ)			数え年 (前厄)	昭和39年	昭和38年	昭和37年
米 寿	88歳	昭和11年	七歳の女児 (数え年のみ)			数え年 (本厄)	昭和58年	昭和57年	昭和56年
傘 寿	80歳	昭和19年	五歳の男児 (数え年のみ)			数え年 (前厄)	昭和63年	昭和62年	昭和61年
喜 寿	77歳	昭和22年	五歳の男児 (数え年のみ)			数え年 (本厄)	平成 4年	平成 3年	平成 2年
古 寿	70歳	昭和29年	三歳の男・女 (数え年のみ)			数え年 (前厄)	平成12年	平成11年	平成10年
還 暦	61歳	昭和38年	三歳の男・女 (数え年のみ)			数え年 (本厄)	平成18年	平成17年	平成16年

※年齢は数え年を記載しております。ご参詣の御礼により、ご参詣の御礼(御礼)にお参り下さい。

※厄年(前厄)も記載しております。ご参詣の御礼により、ご参詣の御礼(御礼)にお参り下さい。

お参り・ご祈禱は、お近くの氏神様・崇敬神社へご相談ください。

愛媛県神道青年会
ehimeshinsei.net



たくさんの掲示をお願いいたします。



神道青年全国協議会 沖繩戦全戦没者 慰霊祭・遺骨収集



【報告者】
愛媛県神道青年会 監事
松山市 嚴島神社
柳原 永祥

令和四年十月二十七日、沖繩本土復帰五十周年記念事業として沖繩県護国神社にて斎主の加治順人宮司をはじめ全国の神青協会員による祭員計五十四名にて沖繩戦全戦没者慰霊祭が斎行されました。ご来賓も含め六十六名の方々にご参列いただき、愛媛からは田窪会長が参列し、野口監事が奉仕しました。

多くの祭員が奉仕するお祭りでしたので、準備や着替えの部屋の確保、全国からのお供え(愛媛からは勿論ミカンの確認、当



日欠席の為に諸役の変更など、神青協役員で手分けして行い、私は撮影係として全員が映るよう記念写真の配置や場所の確保、撮影を行いました。

翌日、神青協と全国氏子青年協議会の会員四十名が沖繩県豊見城市の旧海軍司令部壕にて遺骨収集を行いました。



戦時中、壕内には約四千人の兵士らがいたと言われており、昭和四十五年六月十一日、米軍による壕への総攻撃を受けて、司令部は最後の電報を発し「壕が玉碎した」と報告しました。この壕の詳細な戦死者数は分かっていません。

今回はNPO法人空援隊による約百五十メートルに及ぶ未公開の坑道の徹底調査に参加しました。作業は遺骨や遺留品を傷付けないように慎重に行い、土の表面を削り、ふるいにかけてました。壕内は狭く、泥まみれになり、全身から汗が吹き出しました。当日も複数遺骨など発見されました。収集された遺骨は厚生労働省によりDNA鑑定されて戦没者遺族の身元を特定してご遺族

のもとへ返還される予定です。今の日本があるのは、国の為に散華された英霊のお蔭だということを忘れてはいけません。

二月十一日から十三日まで愛媛県神道青年会主催での遺骨収集も予定していますので、奮ってご参加下さい。戦後七十七年が経ち、遺骨の風化も進み、収集できなくなる日が近づいています。二度とない経験になると思います。



貴重な体験となりますので是非ご参加ください。



神道青年四国地区協議会 親睦会・顧問会並びに懇親会



【報告者】
愛媛県神道青年会 理事
伊方町 九町八幡神社
欄 宜 菊池 崇史

例年、四国地区持ち回りで執り行われて
いる四国地区協議会主催の親睦会・顧問会・
懇親会が令和四年十二月七日(水)に愛媛県
で実施されました。

まずは砥部町炎の里にて砥部焼体験を行
いました。土の塊から捏ねずに器等を作る
作業となります。そもそも砥部焼とはやや
厚手の白磁に「呉須」と呼ばれる薄い藍色
の手書きの模様が特徴的であり花器や食器
が多く存在し、多く
の人々を魅了してい
ます。愛媛県の指定
文化財にも登録され
ているすばらしい文
化に携わることにな
りました。

この砥部焼体験に
は四国管内から有志
十五名ほどが集まり、
四国地区青年協議会



会長から丁寧なご説明

柳原会長の挨拶から始まり土の塊が各々に
配布されてなかなか土の前に緊張されてい
る状況となっていました。

楽しく和気あいあい製作・・・となる
はずですが、制作に集中するあまり黙々と
作りたい器等を試行錯誤されていました。
スタッフの方より土を触り始めると体温で
固まってしまうということタイムリミッ
トは一時間のためやり直すことが困難であ
りほぼほぼ一発勝負となります。

お皿系統を製作されている方が多い中、
ユニークなお皿を製作されている方もおら
れました。五稜郭のようなお皿を製作して
いる方もおられたり、なかにはダンベルの
ような皿?を製作している方もおられまし
た。私自身はあえて他にいないであろうと
湯呑み系統を製作しようと思っていました
が、隣の方も同じ湯呑みを製作していたの
でオンラインワンとはなりませんでした。



かなり真剣!!



我ながら自信作♪

神社 宮司 吉野慶先輩、石鎚神社 権欄宜十
亀雅史先輩にお越しいただき叱咤激励のお
言葉を頂戴いたしました。その後、令和三年
度及び四年度の活動報告を各事業担当より
行いました。続いて令和五年三月八日・九日
に徳島県で開催される中央研修について説明
を行いました。次期会長として高知県鹿児島
神社 欄 宜 池上晃平
氏が選出されたこと
も報告されました。
そして満を持して
十亀雅史先輩の号令
の下乾杯を執り行い
ました。数年間のコ
ロナ禍の影響で懇親
会を執り行えなかつ
た影響でかなり盛り
上がっていました。



青年会にかんば〜い

砥部焼体験に続
いて、しばらくし
て令和四年度四国
地区協議会顧問会
が助格三番町店で
開催されました。
顧問会には顧問で
ある石鎚神社 権
宮司 十亀博行先
輩、高知県仁井田

書き起こせないほど大変な盛り上がりでした。





結束力は日本一!!

役員紹介
令和三年度活動報告
令和四年度活動報告
令和五年度活動計画
その他
閉会挨拶…大久保副会長(高知)

開会挨拶…二宮副会長(徳島)
神宮遙拝
会長挨拶…柳原会長(愛媛)
顧問紹介…野口事務局長(愛媛)
顧問代表挨拶…石鎚神社 権宮司
十亀 博行 様

顧問会次第

各所属会の隔たりが最初からあったのかわからなくなるほど、意気投合していただき、なにより団結しているように思えました。

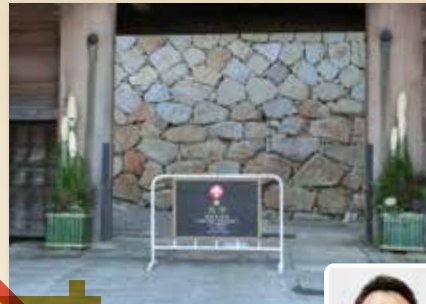
九町 八幡神社



榎宜 菊池 崇史



今治市 吹揚神社



宮司 田窪 大朗



正月飾り
紹介



宮司 進藤 雄作



権榎宜 曾我部洋輔



西予市 野坂神社



西条市 石鎚神社

趣味人

第十四回

神道青年会のオフタイム



愛媛県神道青年会会員
西条市 石岡神社
棚宜 越智 仁美さん

私がバイクを好きになったきっかけですが、映画『マトリックス』でトリニティーというヒロインがカッコ良くバイクを乗り回してたのを見て、私もあんな風にバイクに乗ってみたいと思ったのがきっかけです。

元々乗り物が好きなのですが、車だと頭文字Dが特に好きでスポーツカーとか好きでして、また特撮も大好きで男の子が好きそんなものばかり好きですね(笑)

高校生の時から免許を取りたかったのですが、なかなか夢が叶わず…。やっとバイクの免許をとる機会があり、夢が叶いバイクの良さに魅了されドハマリしてしまいました(笑)

バイクは生身で危険な部分もあります、それ以上に山や海沿いを走れば、風と一体になって、自然を感じる事ができ、景

色を楽しんだり、美味しい物を食べにツーリングを楽しんだりと一人でも複数人でも楽しめる趣味であります。免許歴はまだ六年くらいですが、四国内や淡路島、岡山、広島、島根、鳥取には行きました。子供がいるため、なかなか遠出はできませんが、たまに子供を後ろに乗せて軽く山で走ったりしています。子供もバイク好きになってくれたので、いずれは親子ツーリングも夢ではないかなと思っています。

また趣味のバイクを通して、石岡神社にも多くのバイク乗りの参拝者が増えて欲しいなと思っていた矢先、有難い事にお話を戴きまして、『疾風巡拝プロジェクト』というものに参加いたしました。愛媛県初という事で、全国から徐々にですが、バイク乗りの参拝者が増えております。



私の野望…いえ私のやりたかった事が着々と進んで嬉しい限りです。いずれは、神道青年会のバイク乗りを集めてツーリングクラブを立ち上げ、神社巡りツーリングとかしたら楽しそうだと妄想しております。バイク乗りの皆様どうでしょうか？(笑)



これからもいろいろな形で神社界を盛り上げていきたいと思っています！

《取材：菊池 崇史》



趣味が充実していて楽しそうですね。



ご案内



令和四年度

神道青年全国協議会中央研修会

主 題「想ひ」を繋ぐ

～受け継がれしものを次の世代へ～

期 日…令和五年三月八日(水・赤口)

～九日(木・先勝)

会 場…徳島グランヴィリオホテル

【所在地】〒七七〇-〇九四一

徳島県徳島市万代町三丁目

五一一

研修内容…

第一日目

【第一講】

演 題…全てのいのちに

優しい世界

講師…安藤 桃子先生

(映画監督)

【第二講】

演 題…「伝統は、

「守るべきもの」なのか

講師…矢島 里佳先生

(株式会社和える代表取締役)



【第三講】

演 題…「次世代に繋ぐ」

講師…山田 実先生

(阿波おどり振興協会理事・

天水連連長)



第二日目

【第四講】

演 題…「折れない心」

講師…ニコラス・ペタス 先生

(武道家・元K-1ファイター)



参加費…一五、〇〇〇円

締 切…令和五年二月六日(月) 必着(厳守)

十年に一度の
四国地区での貴重な
開催となります



今後の予定

○新年研修会

主 題…「社殿護持」これからの神社のために」

期 日…令和四年一月二十七日(金・赤口)

会 場…愛媛県護国神社

○慰問神楽

期 日…令和五年二月十四日(火・赤口)

会 場…西条市立橘小学校

○愛媛県神道青年会

再発足五十周年記念事業

沖縄県戦没者遺骨収集事業

期 日…令和五年二月十二日(日・仏滅)

会 場…沖縄県那覇市

会 費…三万円

○再発足五十周年

記念式典・祝賀会

期 日…令和五年四月十九日(水・赤口)

会 場…ANAクラウンプラザホテル松山

※詳細は後日ご案内します。

またとない機会ですので是非参加しましょう。

